

変額個人年金保険GF（Ⅶ型）

ターゲットファイブ

2014年度（平成26年度）特別勘定の現況

●投資環境（2014年度）

日本株式市場

日経平均株価は、期初14,870円で始まりました。4月に5%から8%への消費増税が実施された直後の金融政策決定会合での現状維持決定を受け、4月中旬に同株価は今年度の安値となる13,885円まで下落しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定したことで外国為替市場において円安が進行し、輸出関連の大型株を中心に同株価は上昇し、12月には2007年7月以来の18,000円台まで到達しました。1月にはECBが量的緩和を3月に実施することを決定したことを好感し、米欧株価が上昇したこと等を受け、3月に日経平均株価は、2000年5月以来の今年度高値19,778円まで上昇しましたが、その後やや戻し期末は19,206円で終了しました。

外国株式市場

米国のS&P500は、期初1,873.96で始まりました。4月上旬の米企業減益決算等により、同指数は1,814.36まで一時下落しました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念、米国金融政策の量的緩和終了やエボラ出血熱の感染者拡大等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時1,820程度まで下落しました。12月に原油価格の急落、ロシアルーブルの急落、1月にスイスフランの急騰等を受けリスク回避的に同指数が2,000前後まで下落する局面がありましたが、その後堅調に推移し同指数は2月に史上最高値となる2,119.59をつけました。期末は若干値を戻しS&P500は2,067.89で終了しました。また、英国のFTSE100は、期初6,598.37で始まりました。10月中旬にかけて世界経済の減速懸念等によりリスク回避的な流れを受けて、同指数は一時6,072.68まで下落しました。その後は、徐々に上値を切り上げつつ堅調に推移し、同指数は3月には史上最高値となる7,065.08にまで上昇しました。その後、やや反落しFTSE100は6,773.04で終了しました。

日本債券市場

10年国債利回りは、期初0.64%で始まり、日銀の金融緩和策の買入継続等による国債の良好な需給環境を背景に、0.5%前後まで徐々に低下しました。9月には米国の早期利上げ観測や日本の株価上昇等に伴い、同利回りは0.58%程度まで上昇しました。10月末に日銀が追加金融緩和を決定すると、同利回りは0.44%程度まで低下しました。その後発表された2014年7-9月期GDPマイナス成長、消費増税の実施時期を2017年4月に確定すると安倍政権より意思表示があったことや日銀の追加緩和の効果等を受け、同利回りは1月に0.20%程度まで低下しました。1月下旬の金融政策決定会合で追加緩和策が見送られると同利回りは上昇に転じ、その後は0.30～0.50%程度の幅で推移しました。10年物国債利回りは0.40%で期末を迎えました。

外国債券市場

米国10年債利回りは、期初2.81%で始まりました。10月中旬にかけて、世界景気の減速懸念、エボラ熱感染者拡大、米国の量的緩和終了等を受けたりリスク回避的な動きから、同利回りは一時2.2%程度まで低下しました。また、年度後半に原油価格の下落が顕著となる中、インフレ率の低下、新興国経済の需要鈍化の観測等を背景に、同利回りは1月に1.64%まで低下しました。2～3月にかけては、米国労働市場の回復等を背景とする2015年内の利上げ観測等から2.2%程度まで同利回りが上昇する局面がありましたが、米国10年国債利回りは1.92%で期末を迎えました。また、ドイツ10年国債利回りは、期初1.56%で始まりました。その後、ECBによる追加緩和期待やデフレ懸念等を背景にほぼ年度を通じて同利回りの低下局面が継続しました。3月にはECBによる量的緩和導入が決定され、0.16%程度まで一段と低下しましたが、ドイツ10年国債利回りは、0.18%で期末を迎えました。

外国為替市場

ドル円相場は、期初1米ドル＝103.07円で始まりました。4月～8月までは1米ドル＝100～105円程度の狭い幅での動きが継続しましたが、9月にはGPIF改革による海外投資拡大等への期待から1米ドル＝110円程度まで円安・ドル高が進行しました。10月下旬～月末にかけFOMCにおける米国の量的緩和終了決定、日銀による追加緩和の決定等により、円安・ドル高が一段と進行し、12月には1米ドル＝122円近辺にまで到達しました。その後、3月まで1米ドル＝115～122円程度の幅で一進一退の動きが継続し、1米ドル＝119.95円で期末を迎えました。また、ユーロ円相場は、期初1ユーロ＝141.96円で始まりました。日銀の追加緩和決定による円安・ユーロ高が進行し、12月には1ユーロ＝149.78円に到達しました。その後、ECBの量的緩和導入決定等によりユーロは下落基調を強め、3月には一時1ユーロ＝126.91円まで円高・ユーロ安水準に到達し、1ユーロ＝128.68円で期末を迎えました。

●運用実績の推移および運用方針

- | | |
|-------------|--|
| ①当期の運用実績の推移 | 各特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、各特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2014年度決算（決算日：2015年3月31日）を行いました。当資料は2014年度の運用状況をご報告するものです。

3ページ以降は特別勘定レポート（2015年4月発行（2015年3月末現在））からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認いただけます。

●特別勘定資産の内訳(2014年度末)

(単位：百万円)

区分	金額				
	新興国株 配分変更型	新興国重視型	債券重視型	資産分散型	円マネー型
現預金・コールローン	7	0	2	5	13
有価証券	129	12	43	108	78
公社債	-	-	-	-	-
株式	-	-	-	-	-
外国証券	129	-	-	-	-
公社債	-	-	-	-	-
株式等	129	-	-	-	-
その他の証券	-	12	43	108	78
貸付金	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
貸倒引当金	-	-	-	-	-
合計	136	12	45	113	91

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2014年度)

(単位：百万円)

区分	金額				
	新興国株 配分変更型	新興国重視型	債券重視型	資産分散型	円マネー型
利息配当金等収入	-	1	6	5	0
有価証券売却益	-	-	-	-	-
有価証券償還益	-	-	-	-	-
有価証券評価益	93	6	25	43	0
為替差益	-	-	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-	-	-
その他の収益	-	-	-	-	-
有価証券売却損	25	-	-	-	-
有価証券償還損	-	-	-	-	-
有価証券評価損	71	5	23	28	0
為替差損	-	-	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-	-	-
その他の費用及び損失	-	-	-	-	-
収支差額	-3	2	8	19	0

※単位未満切捨て

●有価証券の売買状況(2014年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
新興国株配分変更型	アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド	-	-	191,847	156,544
新興国重視型	TMA 新興国重視型バランス VA (適格機関投資家限定)	-	-	2,888	3,259
債券重視型	TMA 債券重視型バランス VA (適格機関投資家限定)	5,909	8,500	14,588	16,467
資産分散型	TMA 資産分散型バランス VA (適格機関投資家限定)	30,922	51,300	19,082	26,566
円マネー型	TMA マネーファンド (適格機関投資家限定)	10,479	10,500	60,659	60,731

※単位未満切捨て

●保有契約高(2014年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
変額個人年金保険 GF (Ⅶ型) ターゲットファイブ	89	317

※単位未満切捨て

特別勘定の内容

特別勘定の名称	主な投資対象となる投資信託	運用会社	資産運用関係費用(年率)* ¹
新興国株配分変更型	アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド	J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド* ²	0.6%程度* ³
新興国重視型	TMA新興国重視型バランスVA(適格機関投資家限定)	東京海上アセット マネジメント* ⁷	0.468%(税込)程度* ⁴
債券重視型	TMA債券重視型バランスVA(適格機関投資家限定)		0.408%(税込)程度* ⁴
資産分散型	TMA資産分散型バランスVA(適格機関投資家限定)		0.4314%(税込)程度* ⁴ * ⁵
円マネー型	TMAマネーファンド(適格機関投資家限定)		月次で見直し* ⁶

【参考指数】

日本株式 : TOPIX(配当込み)

外国株式 : MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)

新興国株式 : (新興国株配分変更型) MSCI エマージング・マーケット・インデックス(税引後配当込み、円ヘッジベース)
(新興国重視型、債券重視型、資産分散型) FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)

日本債券 : NOMURA-BPI(総合)

外国債券 : シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)

新興国債券 : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)

J-REIT : 東証REIT指数(配当込み)

*¹ 資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更する可能性があります。

*² J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドは、この書面に含まれる情報について一切の責任を負いません。したがって、J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、いかなる説明や保証も行わずに、また、この書面の正確性または完全性についていかなる責任も負いません。いかなる者もJ.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドを代表して発言することは認められておりません。J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、この書面のいかなる表現および本商品のいかなる勧誘にも責任を負いません。

2014年5月16日付で、アダプティブ・リスク・コントロールEMファンドの運用会社は、「J.P.モルガン・マンサール・インベストメンツ」から「J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド」に変更になりました。

*³ 主な投資対象となる投資信託の受託会社報酬率を記載しています。投資信託の運用には受託会社報酬率の他、運用手法を実行するための取引費用等がかかりますが、発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*⁴ 主な投資対象となる投資信託の信託報酬率に主な投資対象となる投資信託の各マザーファンドが投資対象とする上場投資信託証券(ETF)の信託報酬等を基本資産配分比率で按分して算出した値を加えた実質的な信託報酬率等で記載しています。なお、TMA新興国株式ETFマザーファンドが主要投資対象とするバンガード・FTSE・エマージング・マーケットETFの信託報酬率等は年1回見直され変動するため、実質的な信託報酬は2015年2月27日の値(年0.15%)をもとに算出しています。投資信託の運用には信託報酬の他、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかることがあります。これらの費用は発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

*⁵ TMA資産分散型バランスVA(適格機関投資家限定)が実質的に投資対象とする不動産投資信託証券の信託報酬は、不動産投資信託証券の組入銘柄数や組入比率により実質的な信託報酬に与える影響が異なるため、その費用を加味しておりません。

*⁶ 信託報酬率(年率)は月次で見直すものとし、前月の最終営業日の翌日から、当月の最終営業日までの信託報酬率は、当該期間の直前の5営業日間の当該信託または当該信託が投資する親投資信託の日々の基準価額算出に用いたコール・ローンのオーバーナイト物レートの最低レート(以下、「コールレート」といいます)に応じて次に定める率とします。コールレートが0.45%以上の場合0.243%(税込)、0.30%以上0.45%未満の場合は0.162%(税込)、0.20%以上0.30%未満の場合は0.108%(税込)、0.10%以上0.20%未満の場合は0.054%(税込)、0.05%以上0.10%未満の場合は0.027%(税込)、0.01%以上0.05%未満の場合は0.0108%(税込)、0.01%未満の場合は0.00108%(税込)とします。

*⁷ 2014年4月1日付で、商号が「東京海上アセットマネジメント投信株式会社」から「東京海上アセットマネジメント株式会社」に変更となりました。

特別勘定の運用方針

特別勘定の名称	運用方針
新興国株 配分変更型	主な投資対象となる投資信託を通じて実質的に新興国株式および短期金利資産を投資対象とし、価格変動率を抑制しつつ、資産配分比率を自動的に見直す運用を行い、中長期的な資産の成長を目指して運用を行います。
新興国重視型	主な投資対象となる投資信託を通じて国内外の株式および債券に投資することにより、資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式5%、外国株式5%、新興国株式30%、外国債券30%、新興国債券30%です。
債券重視型	主な投資対象となる投資信託を通じて国内外の株式および債券に投資することにより、資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式5%、外国株式10%、新興国株式10%、日本債券10%、外国債券40%、新興国債券25%です。
資産分散型	主な投資対象となる投資信託を通じて国内外の株式、債券および国内の不動産投資信託証券に投資することにより、資産の成長を目指します。原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式20%、新興国株式10%、外国債券20%、新興国債券10%、J-REIT30%です。
円マネー型	主な投資対象となる投資信託を通じて主として円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーに投資し、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。

●特別勘定の主な投資リスク

価格変動リスク	有価証券等の市場価格の変動により、資産価値が減少することがあります。
金利変動リスク	金利水準の変動により、資産価値が減少することがあります。
為替変動リスク	外国為替相場の変動により、資産価値が減少することがあります。
信用リスク	有価証券の発行母体の経営・財務状況の悪化等により、資産価値が減少することがあります。 また、「新興国株配分変更型」の主な投資対象となる投資信託はスワップ取引等を活用するため、当該取引等の相手先の経営・財務状況の悪化等により取引上の債務が履行されないまたはその可能性が高いと判断される場合、資産価値が減少することがあります。
カントリーリスク	有価証券の発行国の政治・経済・社会情勢の変化により、資産価値が減少することがあります。

※スワップ取引とは、効率的な運用等をするために異なる特定の対象物(金利等)をあらかじめ決めた条件で交換する取引のことです。

※投資リスクについては、「特別勘定のしおり」に詳しく記載しておりますのでご確認ください。

特別勘定 純資産総額の内訳

2015年3月末現在

特別勘定の名称	資産配分		純資産 総額 (百万円)	特別勘定の名称	資産配分		純資産 総額 (百万円)
	有価 証券等	現預金 その他			有価 証券等	現預金 その他	
新興国株 配分変更型	94.8%	5.2%	136	資産分散型	95.3%	4.7%	113
新興国重視型	95.2%	4.8%	12	円マネー型	85.2%	14.8%	91
債券重視型	95.3%	4.7%	45				

※ 資産配分は小数点第2位を四捨五入し、純資産総額は単位未満を切り捨てて表示しています。

特別勘定 ユニットプライスの推移と期間収益率

2015年3月末現在

新興国株配分変更型



新興国株配分変更型		アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド		ユニット プライス	64.51
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-5.54%	-5.95%	-6.39%	-4.10%	-35.48%

新興国重視型



新興国重視型		TMA新興国重視型 バランスVA*		ユニット プライス	157.20
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-0.07%	0.81%	8.83%	18.32%	57.20%

債券重視型



債券重視型		TMA債券重視型 バランスVA*		ユニット プライス	159.11
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.04%	0.00%	8.17%	16.05%	59.11%

資産分散型



資産分散型		TMA資産分散型 バランスVA*		ユニット プライス	187.79
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	-0.47%	0.62%	10.90%	22.44%	87.79%

円マネー型



円マネー型		TMAマネーファンド*		ユニット プライス	100.17
期間 収益率	1か月	3か月	6か月	1年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%	0.17%

* 適格機関投資家限定

※ ユニットプライスと期間収益率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※ ユニットプライス(単位価格)とは、各特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

・変額個人年金保険GF(VII型)は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組入ファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

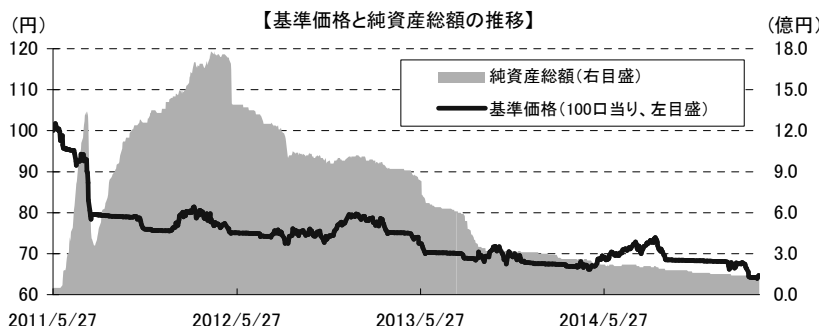
【組入投資信託の運用概況】

2015年3月31日現在

アダプティブ・リスク・コントロールEMファンド

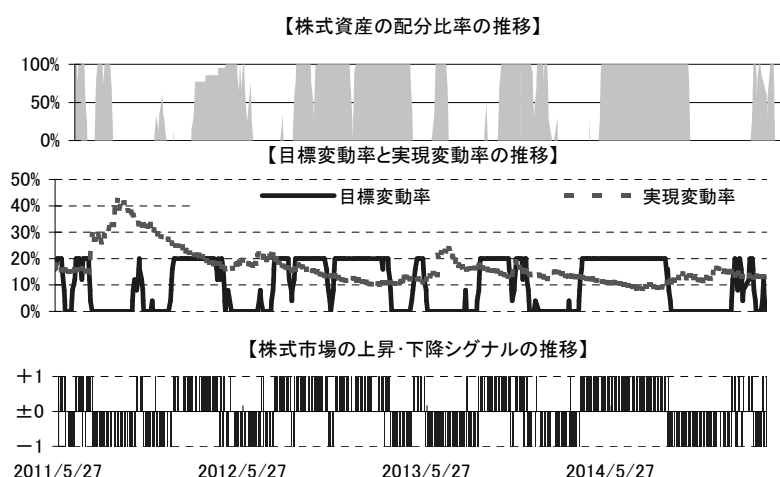
【運用方針】

当ファンドは、スワップ取引等を活用してファンドの価格変動率を一定水準以下へ抑えながら、実質的に株式資産（新興国株式）と短期金利資産への投資配分比率を自動的に見直す運用を行い、中長期的観点に立った信託財産の成長を目指すことを目的とします。



●基準価格(100口当り)	64.54円
●純資産総額	1.2億円
●株式資産の配分比率	61.41%
●設定日	2011/5/27

日付	騰落率
1か月 (15/2/27)	-4.48%
3か月 (14/12/30)	-5.30%
6か月 (14/9/30)	-5.75%
1年 (14/3/31)	-3.38%
設定来 (11/5/27)	-35.46%



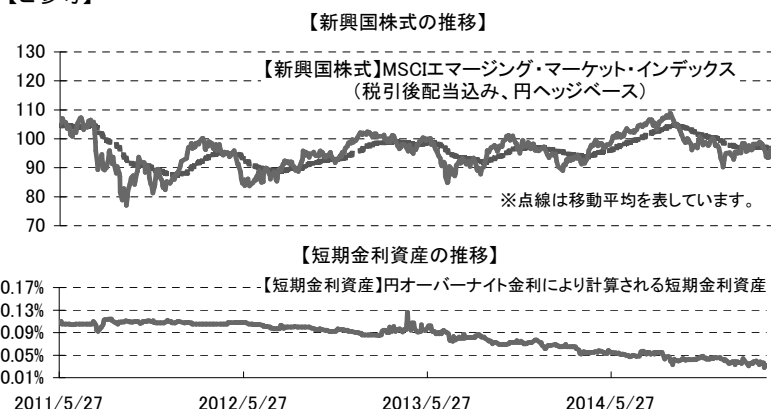
【株式資産の配分比率】は0%から100%の範囲で変動します。配分比率は目標変動率÷実現変動率×100で計算されます。(直近の配分比率と比較して±10%超変動しない場合は変更されません。また、目標変動率が実現変動率を上回った場合、配分比率は100%となります。なお、配分比率を計算してから実際に適用されるまでには3営業日かかります。)

【目標変動率】は20%から0%の範囲で計算日までの株式資産の移動平均値と計算日における株式資産の当日値とを比較して日々計算されます。(変更幅は4%単位)

【実現変動率】は計算日までの株式資産の移動平均から計算される価格変動率として日々計算されます。(目標変動率および実現変動率における移動平均は計算日に近い値に高い荷重を掛ける指数移動平均を用います。)

【株式市場の上昇・下降シグナル】は移動平均から判断して、株式市場が+1の場合は上昇、-1の場合は下降傾向にあることを表しています。(あくまでも指標ですので実際の株式市場の値動きと異なることがあります。)

【ご参考】



【主な新興国株式市場の月間騰落率】

アジア	中国	2.4%	中東・アフリカ	コロンビア	-8.2%
	韓国	1.3%		ペルー	-4.0%
	台湾	-0.7%		南アフリカ	-2.5%
	インド	-4.3%		トルコ	-6.9%
	マレーシア	-2.5%	欧州	エジプト	-0.8%
	インドネシア	1.0%		モロッコ	-4.2%
	タイ	-2.2%		ロシア	-2.7%
	フィリピン	0.8%		ポーランド	-1.0%
中南米	ブラジル	-11.5%		ハンガリー	7.5%
	メキシコ	-2.9%		チェコ	-2.4%
	チリ	-2.2%		指数全体	-1.6%

3月のエマージング株式は下落しました。新興国市場は、中国経済が鈍化しつつあるとの懸念や、2月の米雇用統計発表を受け米連邦公開市場委員会(FOMC)での利上げが近づいているとの観測が広がり、新興国市場資産に対する需要が抑制され、下落して始まりました。しかしその後、米金融当局が利上げを急がないことを示唆し、下落を一部取り戻す展開となりました。

ARC戦略のエマージング株式エクスポージャーは3月平均で47%でした。その結果、ファンドは4.48%の下落となりました。

■J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドは、この書面に含まれる情報について一切の責任を負いません。したがって、J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、いかなる説明や保証も行わずに、また、この書面の正確性または完全性等についていかなる責任も負いません。いかなる者もJ.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドを代表して発言することは認められておりません。J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッドおよびその他のJ.P.モルガングループ各社は、この書面のいかなる表現および本商品のいかなる勧誘にも責任を負いません。

運用：J.P.モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

TMA新興国重視型バランスVA(適格機関投資家限定)

ファンドの特色

- 主な投資対象 主として、「TMA日本株TOPIXマザーファンド」、「TMA外国株式インデックスマザーファンド」、「TMA新興国株式ETFマザーファンド」、「TMA外国債券インデックスマザーファンド」、「TMA新興国債券ETFマザーファンド」受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 参考指数 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を各比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資 産	指 数	基本資産 配分比率
日本株式	TOPIX(配当込み)	5 %
外国株式	MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)	5 %
新興国株式	FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース) (注)	30 %
外国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)	30 %
新興国債券	JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)	30 %

各マザーファンドのベンチマーク

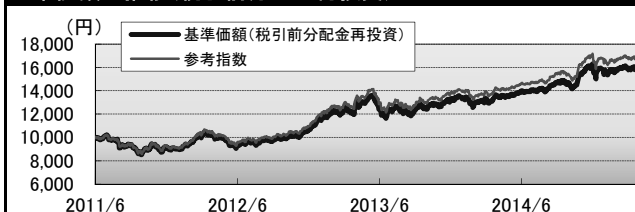
- 【日本株式】 TMA日本株TOPIXマザーファンド : TOPIX
- 【外国株式】 TMA外国株式インデックスマザーファンド : MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
- 【新興国株式】 TMA新興国株式ETFマザーファンド* : FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース) (注)
- 【外国債券】 TMA外国債券インデックスマザーファンド : シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)
- 【新興国債券】 TMA新興国債券ETFマザーファンド* : JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)

* のファンドは参考指数です。

※外国株式と外国債券のベンチマークは、日本を除く主要国を対象としたものです。

(注) 2013年1月10日以前は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)です。組入ETFのベンチマーク移行期間である2013年1月11日から2013年6月28日までは、FTSEエマージング・トラジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)を利用しています。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額は税引前の分配金を再投資したものと計算していますので実際の基準価額とは異なることがあります。

参考指数は設定日前日(2011年6月8日)を10,000円として表示しております。

基準価額は信託報酬控除後です。

上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

基準価額・純資産総額

基 準 価 額	16,043円
純 資 産 総 額	14百万円
設 定 日	2011年6月9日
決 算 日	原則7月10日
信 託 期 間	無 期 限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2011/6/9)
当ファンド	-0.08%	+0.85%	+9.23%	+19.31%	+60.43%
参考指数	-0.36%	+0.43%	+9.06%	+20.16%	+68.87%
差	+0.28%	+0.42%	+0.17%	-0.85%	-8.44%

ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りと異なることがあります。

分配金情報(税引前) ※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

ポートフォリオ構成

資 産	実質 組入比率	基本資産 配分比率	差
日本株式	4.9%	5.0%	-0.1%
外国株式	5.0%	5.0%	0.0%
新興国株式	30.3%	30.0%	0.3%
外国債券	29.7%	30.0%	-0.3%
新興国債券	30.1%	30.0%	0.1%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合 計	100.0%	100.0%	0.0%

比率は純資産総額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

TMA債券重視型バランスVA(適格機関投資家限定)

ファンドの特色

- 主な投資対象 主として、「TMA日本株TOPIXマザーファンド」、「TMA外国株式インデックスマザーファンド」、「TMA新興国株式ETFマザーファンド」、「TMA日本債券インデックスマザーファンド」、「TMA外国債券インデックスマザーファンド」、「TMA新興国債券ETFマザーファンド」受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 参考指数 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を各比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資 産	指 数	基本資産 配分比率
日本株式	TOPIX(配当込み)	5%
外国株式	MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)	10%
新興国株式	FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)(注)	10%
日本債券	NOMURA-BPI(総合)	10%
外国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)	40%
新興国債券	JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)	25%

各マザーファンドのベンチマーク

【日本株式】	TMA日本株TOPIXマザーファンド	: TOPIX
【外国株式】	TMA外国株式インデックスマザーファンド	: MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
【新興国株式】	TMA新興国株式ETFマザーファンド*	: FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)(注)
【日本債券】	TMA日本債券インデックスマザーファンド	: NOMURA-BPI(総合)
【外国債券】	TMA外国債券インデックスマザーファンド	: シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)
【新興国債券】	TMA新興国債券ETFマザーファンド*	: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)

*のファンドは参考指数です。

※外国株式と外国債券のベンチマークは、日本を除く主要国を対象としたものです。

(注)2013年1月10日以前は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)です。組入ETFのベンチマーク移行期間である2013年1月11日から2013年6月28日までは、FTSEエマージング・トランジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)を利用しています。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額・純資産総額

基 準 価 額	16,193円
純 資 産 総 額	45百万円
設 定 日	2011年6月9日
決 算 日	原則7月10日
信 託 期 間	無 期 限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2011/6/9)
当ファンド	+0.04%	-0.01%	+8.52%	+16.77%	+61.93%
参考指数	-0.05%	-0.15%	+8.62%	+17.52%	+67.70%
差	+0.09%	+0.13%	-0.09%	-0.74%	-5.77%

ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

分配金情報(税引前) ※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

分配金額は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

ポートフォリオ構成

資 産	実質 組入比率	基本資産 配分比率	差
日本株式	4.9%	5.0%	-0.1%
外国株式	10.0%	10.0%	0.0%
新興国株式	10.1%	10.0%	0.1%
日本債券	9.9%	10.0%	-0.1%
外国債券	39.8%	40.0%	-0.2%
新興国債券	25.2%	25.0%	0.2%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合 計	100.0%	100.0%	0.0%

比率は純資産総額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

【組入投資信託の運用概況】

2015年3月31日現在

TMA資産分散型バランスVA(適格機関投資家限定)

ファンドの特色

- 主な投資対象 主として、「TMA日本株TOPIXマザーファンド」、「TMA外国株式インデックスマザーファンド」、「TMA新興国株式ETFマザーファンド」、「TMA外国債券インデックスマザーファンド」、「TMA新興国債券ETFマザーファンド」、「TMA日本REITマザーファンド」受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、国内外の複数の資産に分散投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- 参考指数 当ファンドはベンチマークを設けません。ただし、以下の各指数を各比率で合成した複合指数を参考指数とします。

資 産	指 数	基本資産 配分比率
日本株式	TOPIX(配当込み)	10 %
外国株式	MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)	20 %
新興国株式	FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース) (注)	10 %
外国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)	20 %
新興国債券	JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)	10 %
J-REIT	東証REIT指数(配当込み)	30 %

各マザーファンドのベンチマーク

【日本株式】	TMA日本株TOPIXマザーファンド	: TOPIX
【外国株式】	TMA外国株式インデックスマザーファンド	: MSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)
【新興国株式】	TMA新興国株式ETFマザーファンド*	: FTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース) (注)
【外国債券】	TMA外国債券インデックスマザーファンド	: シティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)
【新興国債券】	TMA新興国債券ETFマザーファンド*	: JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)
【J-REIT】	TMA日本REITマザーファンド*	: 東証REIT指数(配当込み)

* のファンドは参考指数です。

※外国株式と外国債券のベンチマークは、日本を除く主要国を対象としたものです。

(注)2013年1月10日以前は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)です。組入ETFのベンチマーク移行期間である2013年1月11日から2013年6月28日までは、FTSEエマージング・トラジション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)を利用しています。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額・純資産総額

基 準 価 額	19,049円
純 資 産 総 額	110百万円
設 定 日	2011年6月9日
決 算 日	原則7月10日
信 託 期 間	無 期 限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2011/6/9)
当ファンド	-0.50%	+0.64%	+11.61%	+23.78%	+90.49%
参考指数	-0.61%	+0.60%	+11.80%	+24.77%	+96.40%
差	+0.12%	+0.04%	-0.19%	-0.99%	-5.91%

ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものとして算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

分配金額は、収益配分方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

ポートフォリオ構成

資 産	実質 組入比率	基本資産 配分比率	差
日本株式	9.9%	10.0%	-0.1%
外国株式	20.2%	20.0%	0.2%
新興国株式	10.2%	10.0%	0.2%
外国債券	19.9%	20.0%	-0.1%
新興国債券	10.1%	10.0%	0.1%
J-REIT	29.8%	30.0%	-0.2%
現金等	-0.1%	0.0%	-0.1%
合 計	100.0%	100.0%	0.0%

比率は純資産総額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

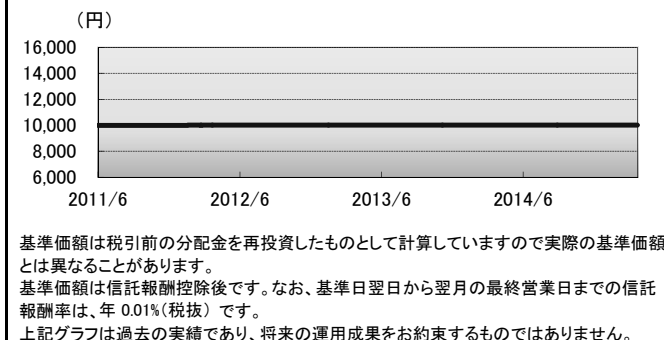
■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

TMAマネーファンド(適格機関投資家限定)

ファンドの特色

- 主な投資対象 主として、「東京海上マネーマザーファンド」受益証券に投資します。
- 投資方針 主として、マザーファンド受益証券への投資を通じて、円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーに投資し、安定した収益の確保を目指して安定運用を行います。

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



基準価額・純資産総額

基準価額	10,021円
純資産総額	79百万円
設定日	2011年6月9日
決算日	原則7月10日
信託期間	無期限

騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2015/2/27)	3ヵ月 (2014/12/30)	6ヵ月 (2014/9/30)	1年 (2014/3/31)	設定来 (2011/6/9)
当ファンド	0.00%	0.00%	+0.01%	+0.02%	+0.21%

ファンドの騰落率は税引前の分配金を再投資したものと算出していますので実際の投資家利回りとは異なる場合があります。

分配金情報(税引前)

※分配金は1万口当たり

基準日現在、分配実績はありません。

分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。分配対象額が少額の場合などには、分配を行わないことがあります。

ポートフォリオ構成

資産	実質組入比率
東京海上マネーマザーファンド	100.0%
現金等	-0.0%
合計	100.0%

比率は純資産総額に占める割合です。

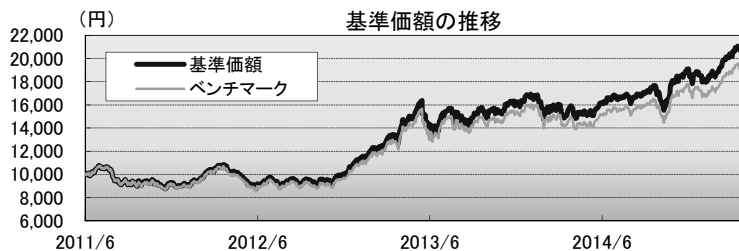
■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆TMA日本株TOPIXマザーファンド



出所:ブルームバーグ

※基準価額およびベンチマークは2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
※ベンチマークはTOPIXです。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1031銘柄)

No	銘柄名	業種名	比率(%)
1	トヨタ自動車	自動車	4.97
2	三菱UFJ FG	銀行	2.53
3	ソフトバンク	通信	1.57
4	本田技研工業	自動車	1.51
5	三井住友 FG	銀行	1.48
6	みずほ FG	銀行	1.24
7	日本電信電話	通信	1.23
8	ファナック	機械	1.17
9	KDDI	通信	1.17
10	キヤノン	産業用エレクトロニクス	1.06

※組入上位10銘柄・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA日本株TOPIXマザーファンド)ベースです。※業種名は弊社独自の21業種分類です。

※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。※株式には、新株予約権証券を含む場合があります。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	+2.06	+105.67
ベンチマーク	+1.26	+89.47
差	+0.79	+16.20

純資産総額

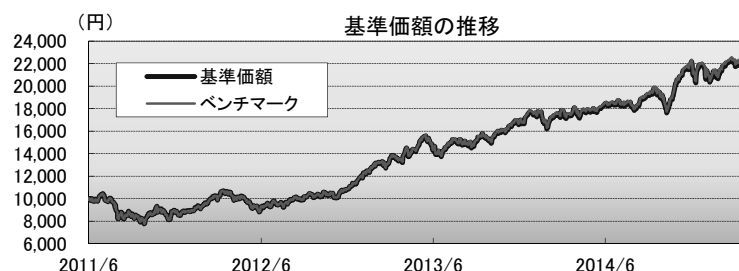
151,046 百万円

※TOPIXは東京証券取引所が発表している東証市場第一部全銘柄の動きを捉える株価指数です。TOPIXの指数値および商標は、東京証券取引所の知的財産であり、TOPIXに関するすべての権利およびノウハウは東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、公表の停止、TOPIXの商標の変更、使用の停止を行う場合があります。

組入上位10業種

No	業種名	比率(%)
1	自動車	11.97
2	銀行	8.71
3	産業用エレクトロニクス	7.52
4	機械	6.83
5	基礎素材	6.20
6	医薬品・ヘルスケア	5.97
7	建設・住宅・不動産	5.65
8	運輸	5.05
9	各種金融	4.92
10	通信	4.71

◆TMA外国株式インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
※ベンチマークはMSCIコクサイ指数(税引前配当込み、円ヘッジなし・円ベース)です。

※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	-0.22	+121.41
ベンチマーク	-0.20	+123.23
差	-0.02	-1.82

純資産総額

143,306 百万円

※ベンチマークは、基準日前日のMSCIコクサイ指数(税引前配当込み、米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものです。

※MSCIコクサイ指数は、MSCI社が発表している日本を除く主要先進国の株式市場の動きを捉える代表的な株価指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI社に帰属します。また、MSCI社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任も負いません。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 1021銘柄)

No	銘柄名	国名	業種名	比率(%)
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.27
2	EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	1.08
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.98
4	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.86
5	WELLS FARGO & COMPANY	アメリカ	銀行	0.84
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.75
7	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.72
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	0.72
9	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.71
10	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.67

※組入上位10銘柄・組入上位10業種は、マザーファンド(TMA外国株式インデックスマザーファンド)ベースです。

※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。※外国株式には不動産投資信託証券(REIT)を含む場合があります。

組入上位10カ国

No	国名	比率(%)
1	アメリカ	59.71
2	イギリス	7.96
3	フランス	3.84
4	ドイツ	3.84
5	カナダ	3.74
6	スイス	3.70
7	オーストラリア	2.88
8	スペイン	1.37
9	香港	1.28
10	スウェーデン	1.26

組入上位10業種

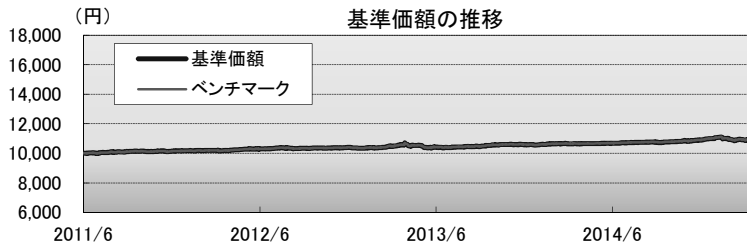
No	業種名	比率(%)
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.79
2	銀行	8.76
3	エネルギー	7.60
4	ソフトウェア・サービス	6.86
5	資本財	6.77
6	食品・飲料・タバコ	5.79
7	素材	4.88
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.26
9	保険	4.00
10	各種金融	3.94

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆TMA日本債券インデックスマザーファンド



※基準価額およびベンチマークは2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
 ※ベンチマークはNOMURA-BPI(総合)です。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	+0.06	+9.53
ベンチマーク	+0.07	+9.63
差	-0.01	-0.10

純資産総額

142,803 百万円

※「NOMURA-BPI(野村債券・パフォーマンス・インデックス)(総合)」とは、野村證券が公表する日本の公募債券流通市場全体の動向を的確に表す代表的な指標です。
 NOMURA-BPIは、野村證券の知的財産です。野村證券は、当ファンドの運用成績などに関し、一切責任を負いません。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 455銘柄)

No	銘柄名	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第106回利付国債(5年)	0.20	2017/09/20	1.41
2	第335回利付国債(10年)	0.50	2024/09/20	1.14
3	第303回利付国債(10年)	1.40	2019/09/20	1.04
4	第122回利付国債(5年)	0.10	2019/12/20	0.94
5	第328回利付国債(10年)	0.60	2023/03/20	0.93
6	第337回利付国債(10年)	0.30	2024/12/20	0.90
7	第305回利付国債(10年)	1.30	2019/12/20	0.89
8	第289回利付国債(10年)	1.50	2017/12/20	0.87
9	第332回利付国債(10年)	0.60	2023/12/20	0.86
10	第288回利付国債(10年)	1.70	2017/09/20	0.83

※組入上位10銘柄・債券種別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA日本債券インデックスマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

債券種別比率

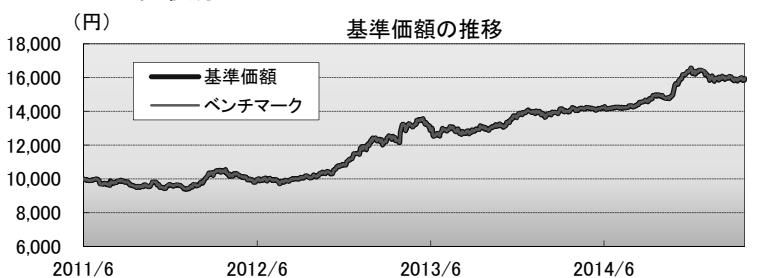
種別	比率(%)
国債	74.21
地方債	8.91
政保・特殊債	6.16
金融債	-
事業債等	10.19

ポートフォリオの状況

平均複利回り(%)	0.42
平均クーポン(%)	1.49
平均残存年数(年)	9.17
修正デュレーション(年)	8.10

※ポートフォリオの状況は途中償還などを考慮して計算しています。

◆TMA外国債券インデックスマザーファンド



出所: ブルームバーク

※基準価額およびベンチマークは2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
 ※ベンチマークはシティ世界国債インデックス(除く日本/円ヘッジなし・円ベース)です。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	-0.38	+59.38
ベンチマーク	-0.42	+59.51
差	+0.04	-0.13

純資産総額

194,268 百万円

※ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(国内投信用)を使用しています。
 ※シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 443銘柄)

No	銘柄名	利率(%)	償還日	通貨	比率(%)
1	米国債	3.250	2016/07/31	米ドル	1.06
2	米国債	4.625	2017/02/15	米ドル	1.00
3	米国債	1.000	2016/08/31	米ドル	1.00
4	米国債	0.625	2017/05/31	米ドル	0.96
5	米国債	8.750	2017/05/15	米ドル	0.83
6	米国債	4.375	2041/05/15	米ドル	0.82
7	米国債	3.125	2016/10/31	米ドル	0.77
8	米国債	4.750	2041/02/15	米ドル	0.75
9	米国債	3.125	2019/05/15	米ドル	0.73
10	米国債	2.500	2017/06/30	米ドル	0.71

※組入上位10銘柄・通貨別比率・ポートフォリオの状況は、マザーファンド(TMA外国債券インデックスマザーファンド)ベースです。
 ※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

通貨別比率(組入上位5通貨)

通貨	比率(%)
米ドル	41.52
ユーロ	40.38
英ポンド	8.04
カナダ・ドル	2.22
オーストラリア・ドル	1.65

ポートフォリオの状況

平均複利回り(%)	1.06
平均クーポン(%)	3.68
平均残存期間(年)	8.80
修正デュレーション(年)	6.81

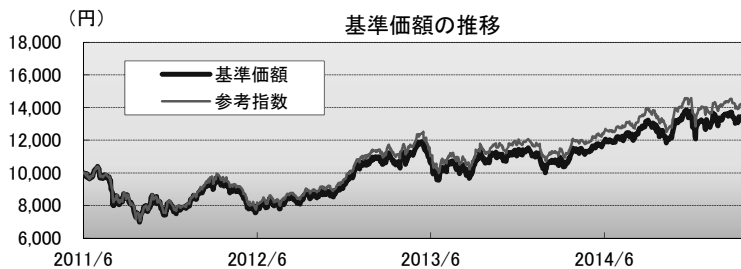
■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆TMA新興国株式ETFマザーファンド



※基準価額および参考指数は2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
 ※参考指数はFTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、円ベース)(注)です。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
 (注)2013年1月10日以前は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス(税引前配当込み、円ベース)です。組入ETFのベンチマーク移行期間である2013年1月11日から2013年6月28日までは、FTSEエマージング・トラディション・インデックス(税引後配当込み、円ベース)を利用しています。

<ご参考>

バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETFの概要

組入上位10銘柄(2015年2月28日現在) (組入銘柄数:1016銘柄)

No	銘柄名
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.
2	Tencent Holdings Ltd.
3	China Mobile Ltd.
4	China Construction Bank Corp.
5	Naspers Ltd.
6	Industrial & Commercial Bank of China Ltd.
7	Bank of China Ltd.
8	Itau Unibanco Holding SA
9	Infosys Ltd.
10	Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.

※<ご参考>の内容は、Vanguardのデータを基に東京海上アセットマネジメントが作成しており、マザーファンドの投資対象です。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	-1.12	+34.92
参考指数	-2.04	+41.97
差	+0.91	-7.05

純資産総額

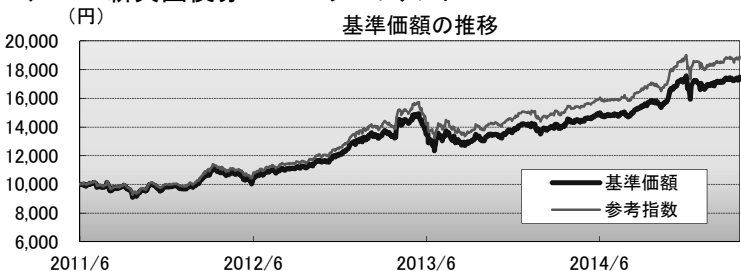
20 百万円

※参考指数は、基準日前日のFTSEエマージング・インデックス(税引後配当込み、米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したもの(注)です。
 ※参考指数は、新興国の株式市場の動きを捉える代表的な指標です。同指数の著作権、知的財産権その他一切の権利は、それぞれFTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社に帰属し、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社の許諾なしにインデックスの一部または全部を複製、頒布、使用などすることは禁じられています。FTSE社(およびそのライセンサー)、MSCI社は当ファンドとは関係なく、当ファンドから生じるいかなる責任にも負いません。

組入上位10カ国(2015年2月28日現在)

No	国名	比率(%)
1	中国	24.8
2	台湾	14.4
3	インド	12.4
4	ブラジル	9.8
5	南アフリカ	9.6
6	メキシコ	5.4
7	マレーシア	4.3
8	ロシア	4.1
9	タイ	3.0
10	インドネシア	2.9

◆TMA新興国債券ETFマザーファンド



※基準価額および参考指数は2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
 ※参考指数はJPモルガン・エマージング・マーケット・債券・インデックス・グローバル・コア・インデックス(円ベース)です。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

<ご参考>

iシェアーズ J. P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETFの概要

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 290銘柄)

No	銘柄名	利率(%)	償還日	種別	比率(%)
1	ロシア国債	7.50	2030/03/31	国債	1.71
2	アルゼンチン国債	8.28	2033/12/31	国債	1.18
3	ウルグアイ国債	5.10	2050/06/18	国債	1.08
4	ポーランド国債	6.38	2019/07/15	国債	1.05
5	ペルー国債	8.75	2033/11/21	国債	1.01
6	ポーランド国債	5.00	2022/03/23	国債	0.96
7	ベロナス・キャピタル	5.25	2019/08/12	社債	0.96
8	ハンガリー国債	6.38	2021/03/29	国債	0.93
9	ルーマニア国債	6.75	2022/02/07	国債	0.90
10	フィリピン国債	6.38	2034/10/23	国債	0.86

※<ご参考>の内容は、iSharesのデータを基に東京海上アセットマネジメントが作成しており、マザーファンドの投資対象です。基準価額算定の基準となる期間に対応しております。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	+0.94	+74.70
参考指数	+0.94	+88.99
差	-0.00	-14.29

純資産総額

27 百万円

※参考指数は、基準日前日のJPモルガン・エマージング・マーケット・債券・インデックス・グローバル・コア・インデックス(米ドルベース)を基準日のTTMで委託会社が円換算したものです。
 ※JPモルガン・エマージング・マーケット・債券・インデックス・グローバル・コア・インデックスは、新興国の債券市場の動きを捉える代表的な指標です。同指数はジェー・ピー・モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表している指数であり、その知的財産権その他一切の権利は、発行者および許諾者に帰属します。同指数の発行者および許諾者は当ファンドとは何ら関係なく、その運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

国別比率(組入上位5カ国)

国名	比率(%)
トルコ	5.75
フィリピン	5.62
インドネシア	5.46
メキシコ	5.38
ロシア	5.23

ポートフォリオの状況

平均クーポン(%)	6.05
平均残存期間(年)	11.83
実効デュレーション(年)	7.44

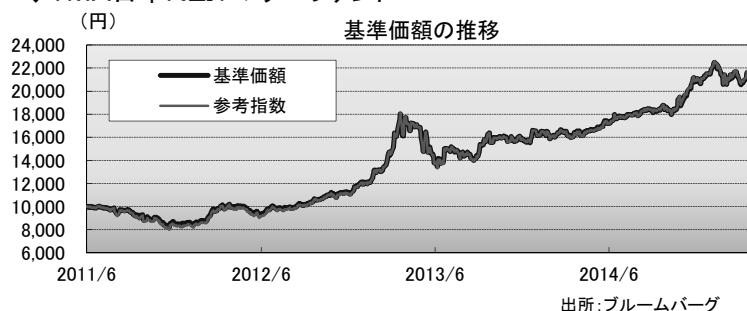
■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用:東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

◆TMA日本REITマザーファンド



※基準価額および参考指数は2011年6月8日を10,000円として指数化しております。
 ※参考指数は東証REIT指数(配当込み)です。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	-1.81	+112.62
参考指数	-1.95	+113.13
差	+0.14	-0.51

純資産総額

2,645 百万円

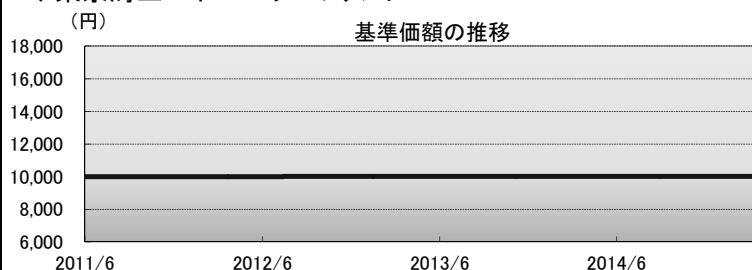
※東証REIT指数(配当込み)は、東京証券取引所(以下「東証」といいます。)に上場しているREIT全銘柄を対象とした時価総額加重型の指数で、基準日(=2003年3月31日)の時価総額を1,000として算出され、東証に上場しているREIT全銘柄に投資した場合の投資成果(市場における価格の変動と分配金の受け取りを合わせた投資成果)を表します。なお、東証REIT指数は東証の知的財産であり、東証REIT指数の算出、数値の公表、利用など東証REIT指数に関する権利は東証が所有しております。

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 43銘柄)

No	銘柄名	比率(%)
1	日本リートファンド投資法人	6.13
2	日本ビルファンド投資法人	5.67
3	ジャパンリアルエステイト投資法人	5.47
4	ユナイテッド・アーバン投資法人	4.91
5	オリックス不動産投資法人	4.49
6	ケネディクス・オフィス投資法人	4.20
7	日本プロロジスリート投資法人	4.18
8	野村不動産マスターファンド投資法人	4.04
9	ケネディクス・レジデンシャル投資法人	3.65
10	ジャパン・ホテル・リート投資法人	3.57

※組入上位10銘柄は、マザーファンド(TMA日本REITマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

◆東京海上マネーマザーファンド



※基準価額は2011年6月9日を10,000円として指数化しております。
 ※上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

騰落率(%)

	1ヵ月	設定来
当ファンド	0.00	+0.28

純資産総額

92 百万円

組入上位10銘柄 (組入銘柄数: 2銘柄)

No	銘柄名	利率(%)	償還日	比率(%)
1	第520回国庫短期証券	0.00	2015/06/22	65.14
2	第503回国庫短期証券	0.00	2015/04/06	21.71
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

※組入上位10銘柄は、マザーファンド(東京海上マネーマザーファンド)ベースです。※比率はマザーファンドの純資産額に占める割合です。

■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が独自に作成したものであり、金融商品取引法により義務付けられた資料ではありません。■当資料はあくまでも情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は、東京海上アセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。■掲載データはあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

設定・運用: 東京海上アセットマネジメント

URL <http://www.tokiomarineam.co.jp/>

■この特別勘定レポートは、東京海上日動あんしん生命保険株式会社の変額個人年金保険の特別勘定の過去の運用状況等を開示するものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。■特別勘定が投資する投資信託の運用状況は、当該投資信託の運用会社からの運用報告を東京海上日動あんしん生命保険株式会社より提供するものであり、東京海上日動あんしん生命保険株式会社はその正確性、完全性を一切保証しません。■巻末に「ご負担いただく費用について」「投資リスクについて」等を記載しておりますので、ご参照ください。

ご負担いただく費用について

この商品では、以下の諸費用の合計額をご負担いただきます。

●ご契約時の費用

項 目		費 用
契約初期費用	ご契約の締結や代理店手数料の支払い等に必要な費用	一時払保険料に対して4.0%

●運用期間中の費用

項 目		費 用
保険関係費用* ¹ (保険契約管理費)	ご契約の維持・管理や代理店手数料の支払い等に必要な費用	基本保険金額に対して年率2.3%* ²
資産運用関係費用	特別勘定の運用に必要な費用 (特別勘定ごとに費用が異なります。詳しくは、P.3「特別勘定の 内容」をご覧ください。)	投資信託の純資産総額に対して 左記費用を毎日控除します

●年金受取期間中の費用(主契約および年金支払特約)

項 目		費 用
保険関係費用* ³ (年金管理費)	年金のお支払い・管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に 責任準備金から控除します)

●年13回*⁴以上のスイッチングを行う場合にかかる費用

項 目		費 用
積立金移転費用	スイッチングを行う場合で、年13回目* ⁴ からかかる費用	1回あたり1,000円

*¹ この商品の保険関係費用(保険契約管理費)は基本保険金額に対して計算しますので、基本保険金額が一定の場合、保険関係費用(保険契約管理費)は積立金額の増減にかかわらず一定となります。

*² 保険関係費用(保険契約管理費)を控除する際、費用に相当するユニット数(ご契約者が保有する特別勘定の持分の単位数)が減少します。

*³ 保険関係費用(年金管理費)は、毎年お支払いする年金額から差し引かれるものではなく、将来の年金のお支払いのために積み立てられている責任準備金から控除されます。また、保険関係費用(年金管理費)は、将来変更する可能性があります。

*⁴ 「年」とは、契約応当日(契約日)から翌年の契約応当日前日までをいいます。

投資リスクについて

- この商品は、将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしきみの生命保険(変額個人年金保険)です。
- 将来受け取る年金額、死亡保険金額、解約払戻金額等に最低保証はありません。特別勘定は、主な投資対象となる投資信託を通じて、国内外の株式・債券等を投資対象とし、またはスワップ取引等を活用し実質的に株式・短期金利資産を投資対象としますので、ご契約者は収益を期待できる一方、価格変動リスク・金利変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・カントリーリスク等の投資リスクを負うことになります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の影響等により積立金額が変動し、年金、死亡保険金、解約払戻金等のお受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります。また、この商品に一度に大量の解約が発生する等の事情により、お受け取りになる金額の合計額が、一時払保険料の額を下回り、損失が生じるおそれがあります。(被保険者が運用期間中に所定の不慮の事故による傷害等でお亡くなりになった場合は、基本保険金額と同額を災害死亡保険金として死亡保険金に加算してお支払いします。)
- 積立金額が0円になった場合、ご契約は消滅します。ご契約が消滅した場合には、以後の死亡保険金、年金等のお支払いはありません。
- 運用対象や運用方針の異なる複数の特別勘定の中から、投資対象となる特別勘定をお客さまの判断で決定していただきます。また、特別勘定の資産運用の成果およびリスクはお客さまに帰属することになります。
- スwitchングを行った際には、選択した特別勘定の種類によっては、その特別勘定の投資リスクがスイッチング前の特別勘定の投資リスクと変わることがあります。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

この商品は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ http://www.tmn-anshin.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせ  0120-237-770 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	--



200901